

横須賀市告示第 212 号

地方自治法第 243 条の 3 第 1 項及び横須賀市財政事情の公表に関する条例並びに地方公営企業法第 40 条の 2 第 1 項の規定に基づき、本市の財政状況を次のとおり公表します。

平成 25 年 12 月 2 日

横須賀市長 吉田 雄人

横 須 賀 市 の  
財 政 状 況

# 1. 平成 24 年度決算の状況

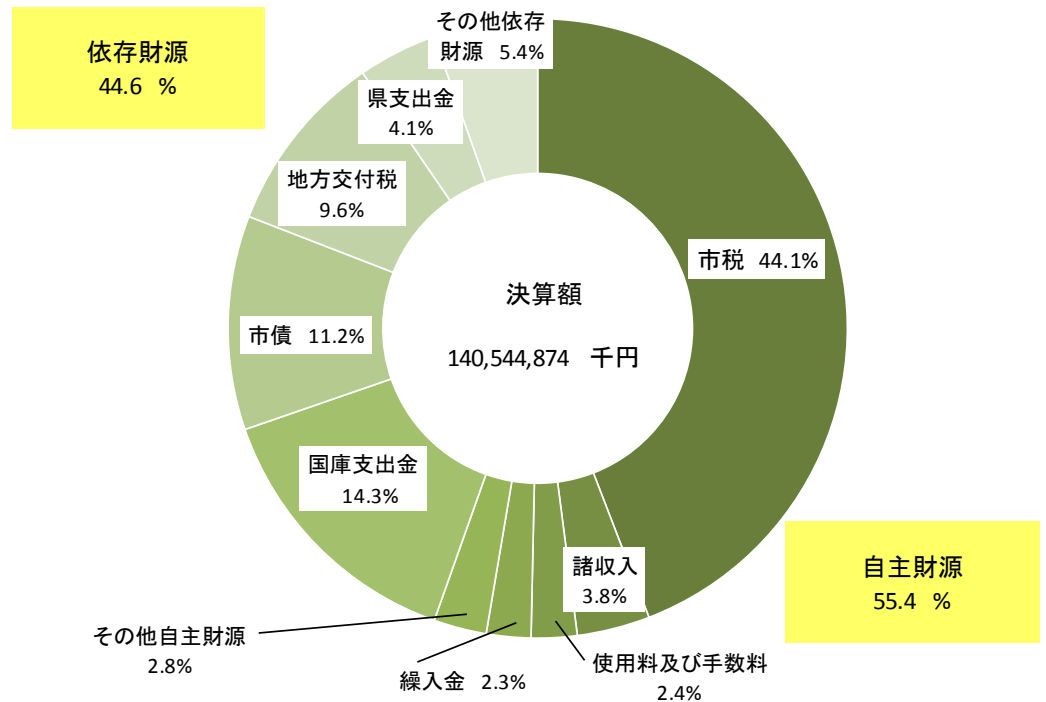
一般会計

歳入

〔歳入決算の状況〕

〔単位：千円〕

区 分	収入額	構成率 (%)
自主財源	77,891,919	55.4
市税	62,044,573	44.1
諸収入	5,348,628	3.8
使用料及び手数料	3,360,219	2.4
繰入金	3,261,324	2.3
その他自主財源	3,877,175	2.8
依存財源	62,652,955	44.6
国庫支出金	20,077,740	14.3
市債	15,702,500	11.2
地方交付税	13,435,257	9.6
県支出金	5,789,471	4.1
その他依存財源	7,647,987	5.4
合 計	140,544,874	100.0



## 自主財源と依存財源

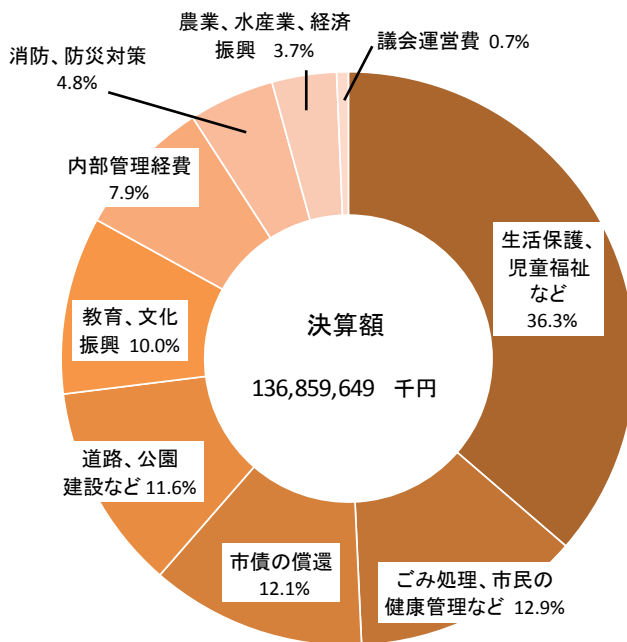
自主財源は、市税のように市が自主的に収入できるものです。これに対し、依存財源は、ある条件を満たした場合に国や県から交付を受けるものです。安定した行政運営のためには全体に占める自主財源の割合が高いことが望まれます。

歳 出

〔歳出決算の状況〕

〔単位：千円〕

区 分	支出額	構成率 (%)
生活保護、児童福祉などの経費	49,723,895	36.3
ごみ処理、市民の健康管理などの経費	17,701,814	12.9
市債の償還のための経費	16,594,532	12.1
道路、公園建設などの経費	15,921,200	11.6
教育、文化振興のための経費	13,687,988	10.0
内部管理経費	10,757,096	7.9
消防、防災対策のための経費	6,604,362	4.8
農業、水産業、経済振興のための経費	4,975,438	3.7
議会運営のための経費	893,324	0.7
合 計	136,859,649	100.0



(単位 千円)

収支状況

収入決算額 (A)	支出決算額 (B)	平成 25 年度へ繰り越した事業への充当額 (C)	実質収支 (A - B - C)
140,544,874	136,859,649	229,177	3,456,048

平成 24 年度一般会計の決算額は、歳入が約 1,405 億円、歳出が約 1,369 億円となりました。歳入歳出の差引額から翌年度への繰越財源を差し引いた実質収支は、約 35 億円となり、半分の約 17 億円は後年度の財政運営のため財政調整基金に積み立てました。残りは平成 25 年度予算に組み入れます。

歳入では、市税が主に固定資産税の減少により、前年度に比べ約 7 億円減少しました。国・県支出金は、生活保護の増加や行政センターの建設等の事業費の増加はあるものの、こども手当から児童手当への制度移行、子育て支援事業交付金などの時限交付の終了により約 9 億円の減少となりました。一方で、地方交付税が約 3 億円、市債が約 8 億円、財政調整基金からの繰入金が増加しました。

歳出では、内部管理経費が前年度に比べ、約 22 億円減少しました。これは、平成 23 年度に本町山中有料道路の貸付金の一括償還を受けたものを、後年度の公債費に充てるため減債基金へ積み立てましたが、平成 24 年度はこの分が全て減少となったことなどによります。生活保護、児童福祉などの経費は、生活保護や介護保険などの社会保障費の増加はあるものの、こども手当から児童手当への制度移行により約 2 億円減少しました。消防、防災対策のための経費は、消防情報システムの整備などにより、約 7 億円増加しています。

財政指数  
(決算関連)

〔経常収支比率〕

市税や地方交付税などの経常的な収入に対して、社会保障経費や借金の返済などの経常的な支出がどのくらいの割合を占めているのかを表した指標です。

この比率が100%に近づくほど、収入の用途がすでに決まっていて、政策的に支出する経費が制限されている状態といえます。

本市の経常収支比率は、県内市の平均よりも高くなっています。

平成24年度は前年度に比べ若干上昇していますが、これは主に、生活保護などの社会保障費が大きく増加したためです。

平成24年度 決算(A)	平成23年度 決算(B)	増減 (A-B)	県内市平均
96.0%	95.7%	0.3%	95.1%

〔実質公債費比率〕

一般会計の元利償還金のほか、上下水道事業や病院事業といった公営企業の元利償還金に充てられた繰出金など、実質的には公債費と同じ性質の経費も含めて借金返済の負担の大きさを示します。

この比率が18%以上になると、市が借金をするためには県知事の許可が必要になります。また25%以上になると、財政健全化法により「早期健全化団体」となり、財政健全化計画を議会の議決を経て策定・公表する義務を負い、借金をすることが制限されます。

比率は3か年平均で示され、平成24年度決算では前年度と比べ、0.4%の上昇となりました。これは、市民病院の指定管理者制度移行による退職者の退職手当支給のために発行した市債の元金償還などによるものです。

平成24年度 決算(A)	平成23年度 決算(B)	増減 (A-B)	県内市平均
6.4%	6.0%	0.4%	6.2%

〔将来負担比率〕

市債残高のほか、一部事務組合や土地開発公社等も含めて、一般会計等が今後負担しなくてはならない負債の総額を算出し、将来の財政負担の程度を示します。

この比率が350%以上になると、「早期健全化団体」となります。

平成24年度決算は、土地開発公社に依頼して購入した土地の処分を進めたことや、職員数の減少による退職手当負担見込額の減少などにより改善傾向にあります。また、病院事業会計における退職手当債の元金償還の進捗などにより比率が上昇しました。

平成24年度 決算(A)	平成23年度 決算(B)	増減 (A-B)	県内市平均
64.3%	63.7%	0.6%	75.8%

(単位 千円)

財政調整  
基金現在高

平成24年度(A)	平成23年度(B)	増減(A-B)
13,333,006	13,366,080	△33,074

財政調整基金

地方公共団体の年度間ごとの財源の不均衡を調整し、安定的な財政運営を行うための貯金です。

市の財政は、経済不況により税収が大幅に落ち込むことや、災害等の予期しない多額の支出が生じる場合があります。このような事態に備えて財政調整基金の積み立てを行っています。

特別会計の  
決算状況

[特別会計]

(単位：千円)

会計名	収入決算額(A)	支出決算額(B)	平成25年度へ繰越をした事業への充当分(C)	実質収支(A-B-C)
国民健康保険費	47,432,769	47,013,510	0	419,259
公園墓地	298,472	260,789	0	37,683
介護保険費	29,580,753	28,754,633	0	826,119
母子寡婦福祉資金貸	232,164	84,886	0	147,277
公債管理費	19,303,466	19,303,466	0	0
後期高齢者医療費	4,831,967	4,794,958	0	37,009

※差引額が実質収支に合致しないのは端数整理により生じたものです。

企業会計の  
決算状況

[企業会計]

(単位：千円)

会計名	区分		決算額
	水道事業	収益的	収入
支出			10,370,515
資本的		収入	1,547,995
		支出	4,553,101
下水道事業	収益的	収入	10,656,195
		支出	10,278,050
	資本的	収入	6,554,107
		支出	11,419,210
病院事業	収益的	収入	1,358,602
		支出	1,375,393
	資本的	収入	1,328,715
		支出	1,849,069

※資本的収支の不足分は、留保資金などで補てんしています。

**収益的収入・支出及び資本的収入・支出とは**

サービス提供にかかる経費とそれに対する料金収入といった、企業の経営活動に伴い生じる経費とそれに対する収益を、収益的収入・支出といいます。

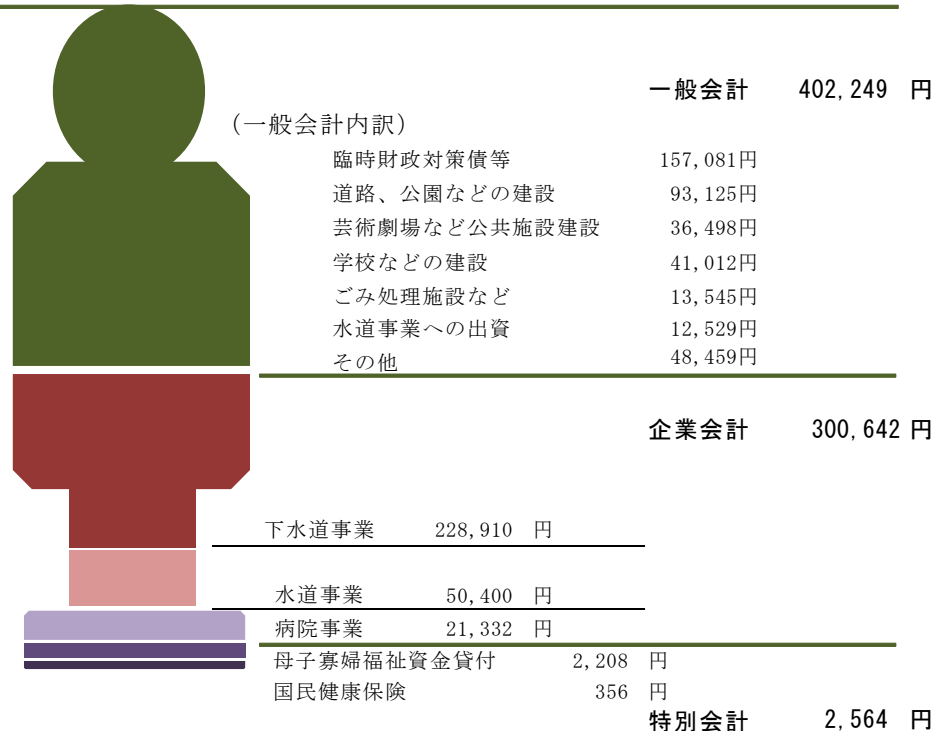
一方、建設整備のための経費やそれにかかる企業債の償還金などの支出と、建設整備の財源となる企業債などの収入を資本的収入・支出といいます。

(単位：千円)

## 市債現債額

		平成24年度末 現 債 額	平成23年度末 現 債 額	増 減
一	般 会 計	169,792,279	168,169,632	1,622,647
通 常 債	道路、公園などの建設	39,308,737	40,836,874	△ 1,528,137
	学校などの建設	17,311,570	16,712,806	598,764
	芸術劇場などの公共施設建設	15,405,984	16,946,242	△ 1,540,258
	ごみ処理施設などの建設	5,717,646	5,843,351	△ 125,705
	水道事業への出資	5,288,671	5,678,832	△ 390,161
	その他の	20,454,711	19,265,510	1,189,201
	小 計	103,487,319	105,283,615	△ 1,796,296
	臨時財政対策債等	66,304,960	62,886,017	3,418,943
特	別 会 計	1,082,140	929,390	152,750
	母子寡婦福祉資金貸付	932,140	929,390	2,750
	国民健康保険	150,000	0	150,000
企	業 会 計	126,902,922	131,331,999	△ 4,429,077
	下水道事業	96,624,321	99,107,255	△ 2,482,934
	水道事業	21,274,268	22,219,963	△ 945,695
	病院事業	9,004,333	10,004,781	△ 1,000,448
	合 計	297,777,341	300,431,021	△ 2,653,680

横須賀市の市債 市民1人あたりの現債額 (会計別) 総額 705,455円



※人口は平成25年4月1日現在の住民基本台帳人口422,107人を使用しています。

## 一般会計の市債

市債とは市の借金のことをいい、大きく分けて、通常の建設事業等にかかる「通常債」と、本来、国から交付されるべき現金の振替措置として借り入れる「臨時財政対策債等」があります。

**通常債：**施設整備を行う場合など、一時的に多額の資金を必要とする場合に借り入れる市債で、翌年度以降、借入対象施設の耐用年数に応じて分割して返済していきます。整備された施設は、将来の市民も利用するので、現在の市民だけでなく将来の市民からも十分に税負担をしてもらい、世代間の負担を公平にするという考え方に基づいています。

**臨時財政対策債等：**「臨時財政対策債」とは、本来、国から自治体へ地方交付税として再分配されるべき現金が、国の財源不足により全額が地方に配分されず、不足する額を一旦、自治体が借り入れて対応しているもので、返済額は地方交付税で補てんされます。

## 2.平成 25 年度予算執行の状況（平成 25 年 9 月 30 日現在）

### 一般会計

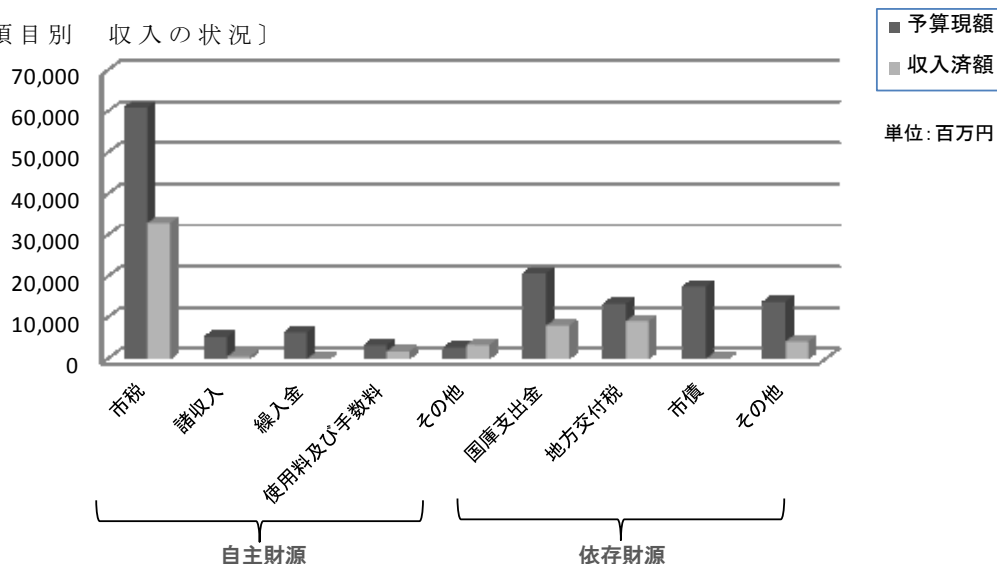
#### 歳入

〔収入の状況〕

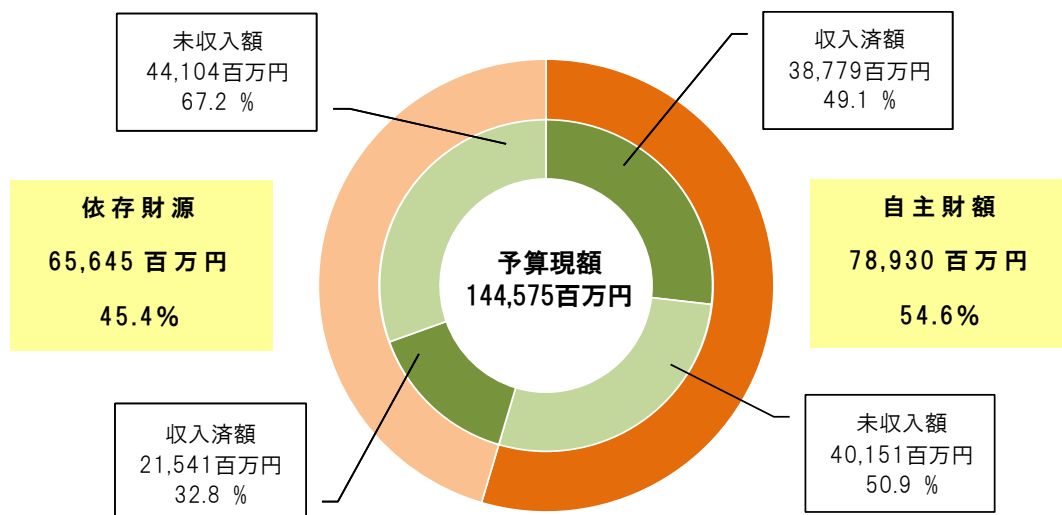
（単位：百万円）

区 分	予算現額	収入済額	執行率 (%)
自主財源	78,930	38,779	49.1
市税	61,013	32,934	54.0
諸収入	5,342	599	11.2
繰入金	6,436	0	0.0
使用料及び手数料	3,367	1,846	54.8
その他	2,772	3,400	122.7
依存財源	65,645	21,541	32.8
国庫支出金	20,828	8,080	38.8
地方交付税	13,349	9,186	68.8
市債	17,606	25	0.1
その他	13,862	4,250	30.7
合 計	144,575	60,320	41.7

〔項目別 収入の状況〕



〔自主財源・依存財源別の収入の状況〕

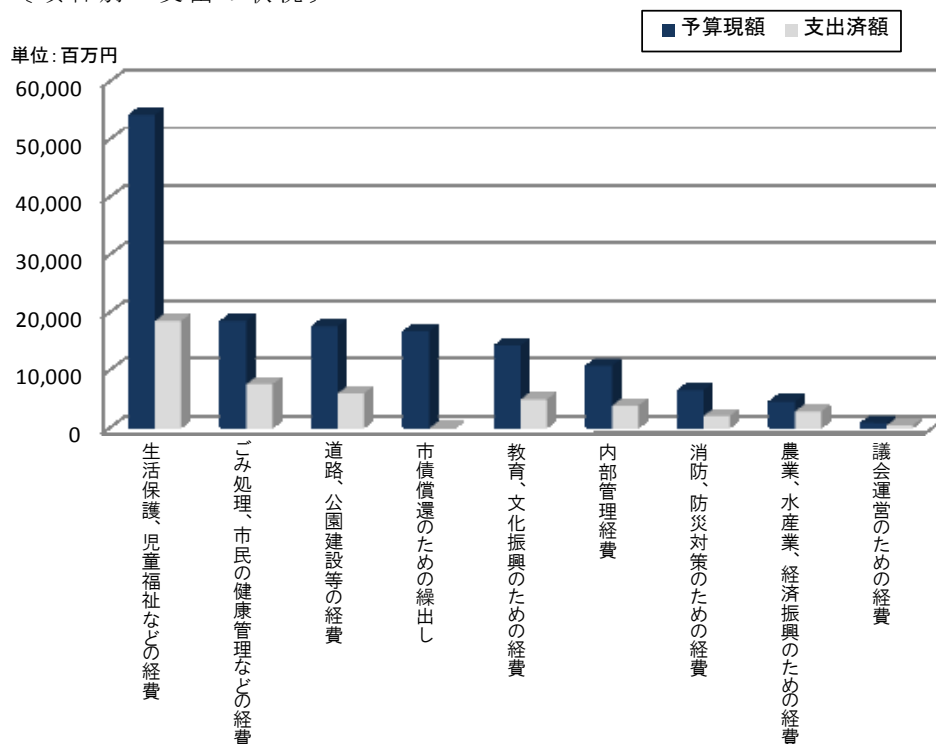


〔支出の状況〕

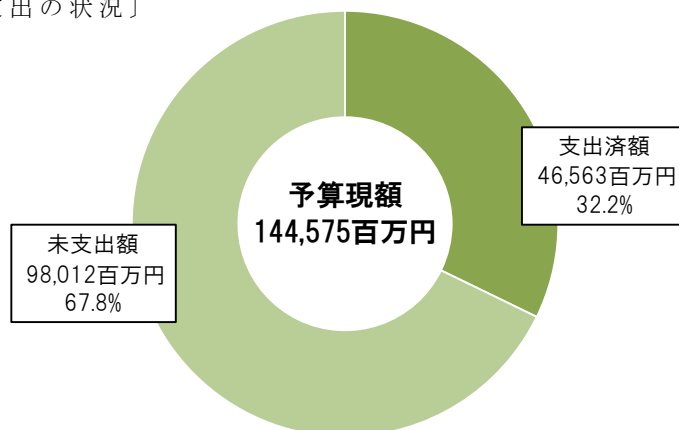
(単位：百万円)

区 分	予算現額	支出済額	執行率 (%)
生活保護、児童福祉などの経費	54,300	18,574	34.2
ごみ処理、市民の健康管理などの経費	18,541	7,614	41.1
道路、公園建設等の経費	17,683	6,028	34.1
市債償還のための繰出し	16,778	0	0.0
教育、文化振興のための経費	14,331	4,990	34.8
内部管理経費	10,832	3,902	36.0
消防、防災対策のための経費	6,597	2,101	31.8
農業、水産業、経済振興のための経費	4,597	2,894	63.0
議会運営のための経費	916	460	50.2
合 計	144,575	46,563	32.2

〔項目別 支出の状況〕



〔全体の支出の状況〕



**予算現額とは**

市は毎年度予算を編成したあとで、当初の予算を変更することがありますが、これを予算の補正といいます。補正を行ったあとの予算の額、つまり、現在の予算額を「予算現額」と呼びます。

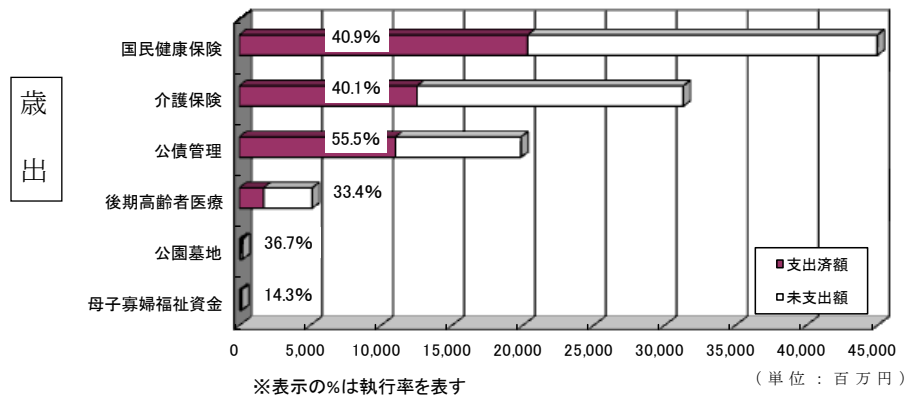
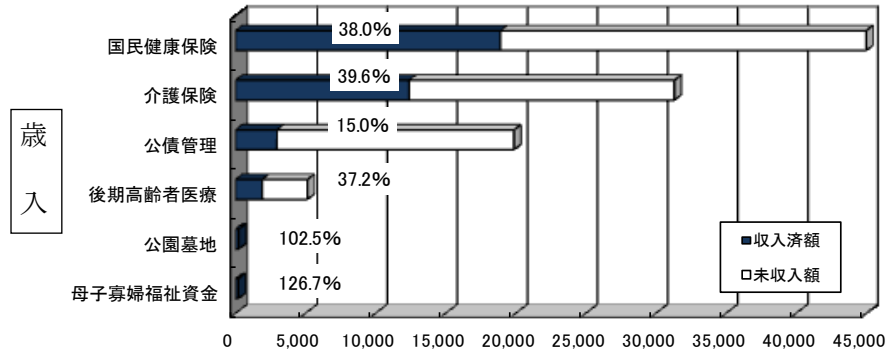


## 特別会計

〔歳入歳出の状況〕

(単位：百万円)

区 分	予算現額	収入済額	支出済額
国民健康保険	49,776	18,918	20,357
公債管理	19,871	2,974	11,024
介護保険	31,311	12,394	12,544
後期高齢者医療	5,140	1,911	1,719
公園墓地	237	243	87
母子寡婦福祉資金	161	204	23
合 計	106,496	36,644	45,754



## 企業会計

### 水道事業

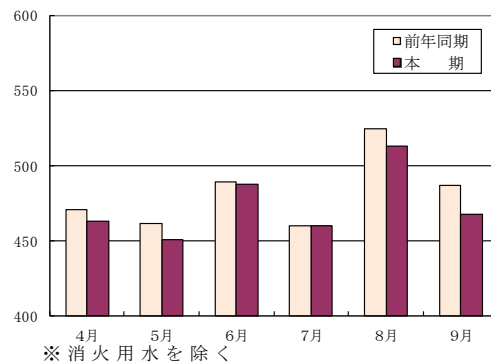
〔経理状況〕

(単位：百万円)

区 分	予算現額	収入・支出済額	執行率 (%)	
収益的	収入	10,717	5,370	50.1
	支出	10,509	2,555	24.3
資本的	収入	577	4	0.7
	支出	6,057	1,536	25.4

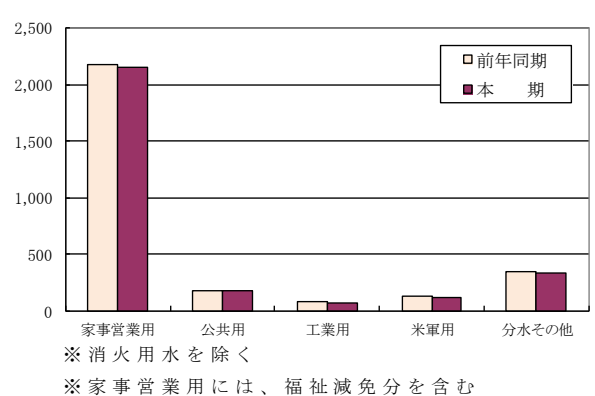
平成 25 年度上半期月別有収水量

(単位：万 m<sup>3</sup>)



平成 25 年度上半期用途別有収水量

(単位：万 m<sup>3</sup>)



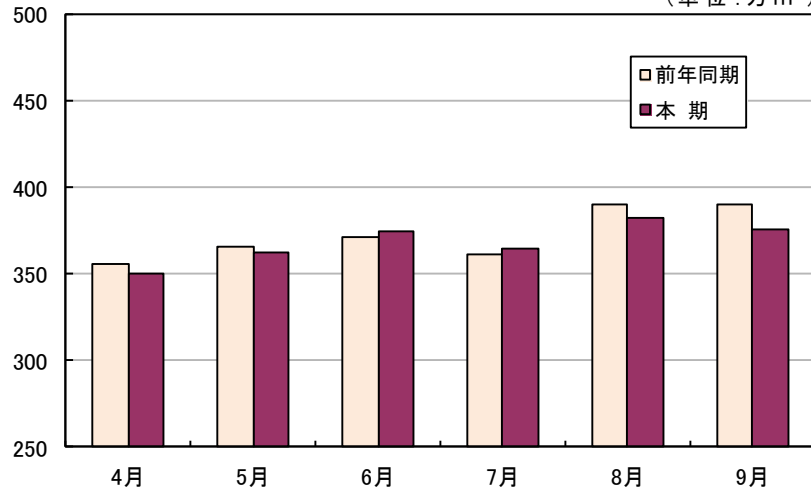
〔経理状況〕

(単位：百万円)

区分		予算現額	収入・支出済額	執行率(%)
収益的	収入	10,387	5,263	50.7
	支出	10,291	2,419	23.5
資本的	収入	8,727	2,401	27.5
	支出	13,247	4,502	34.0

平成 25 年度上半期月別有収水量

(単位：万 m<sup>3</sup>)

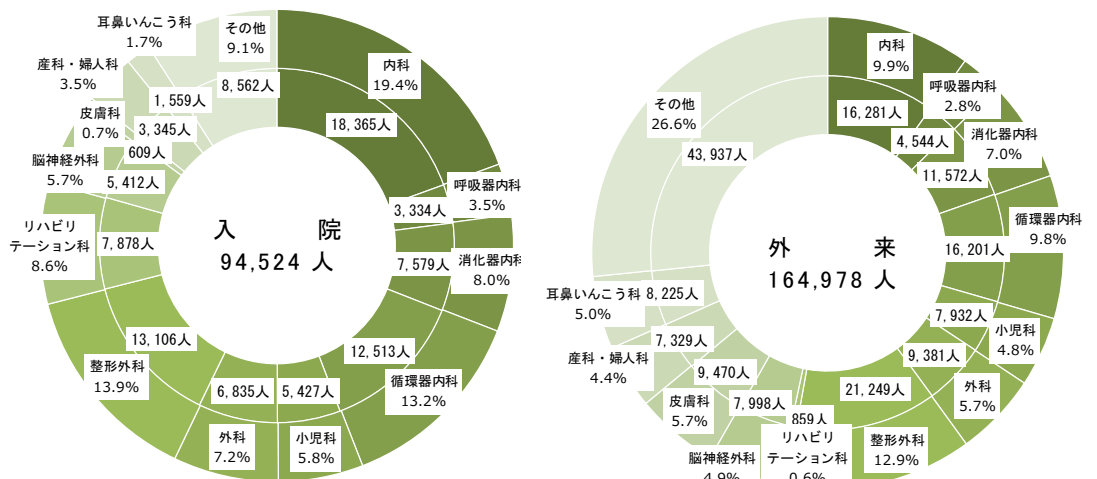


〔経理状況〕

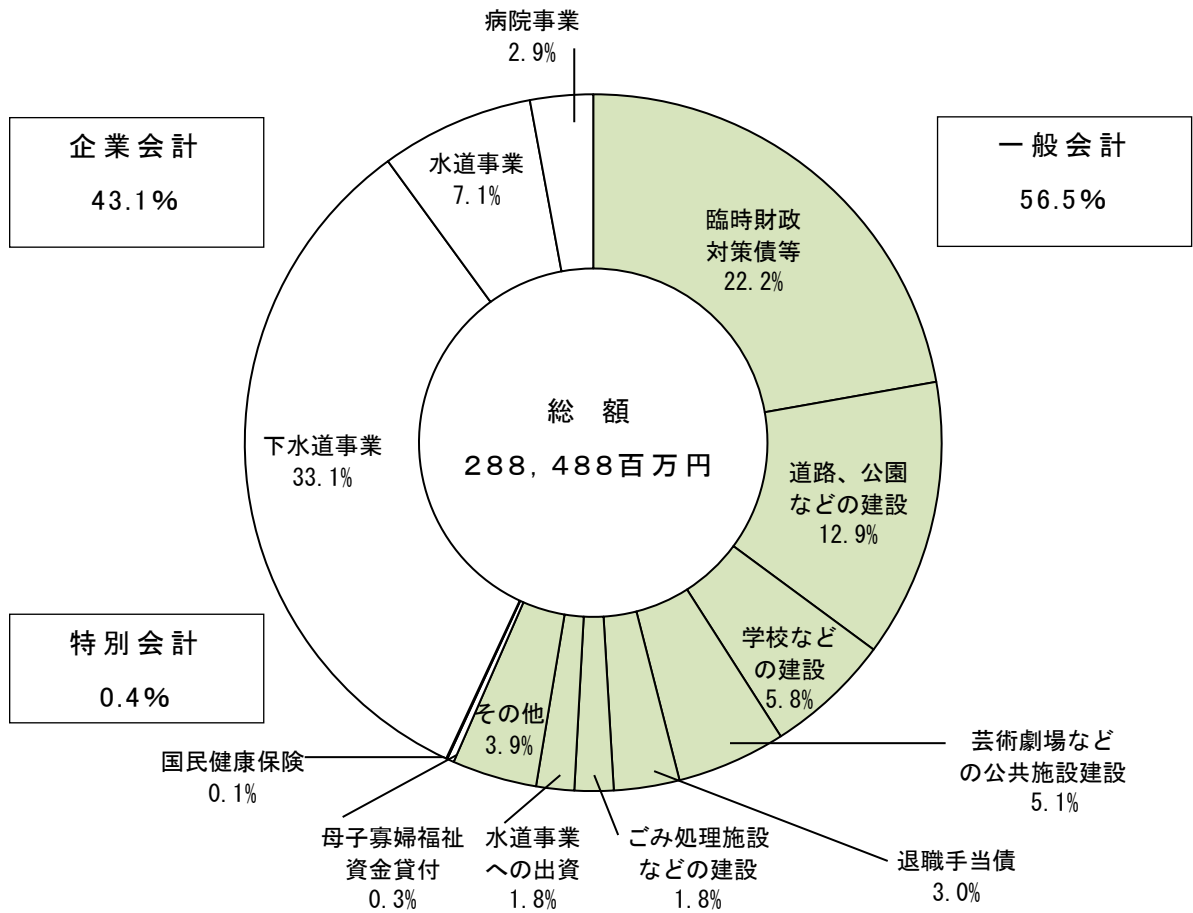
(単位：百万円)

区分		予算現額	収入・支出済額	執行率(%)
収益的	収入	1,332	1,169	87.8
	支出	1,457	254	17.4
資本的	収入	1,803	757	42.0
	支出	2,230	882	39.6

〔平成 25 年度上半期の患者診療科別割合〕



### 3. 市債の現債額（平成25年9月30日現在）

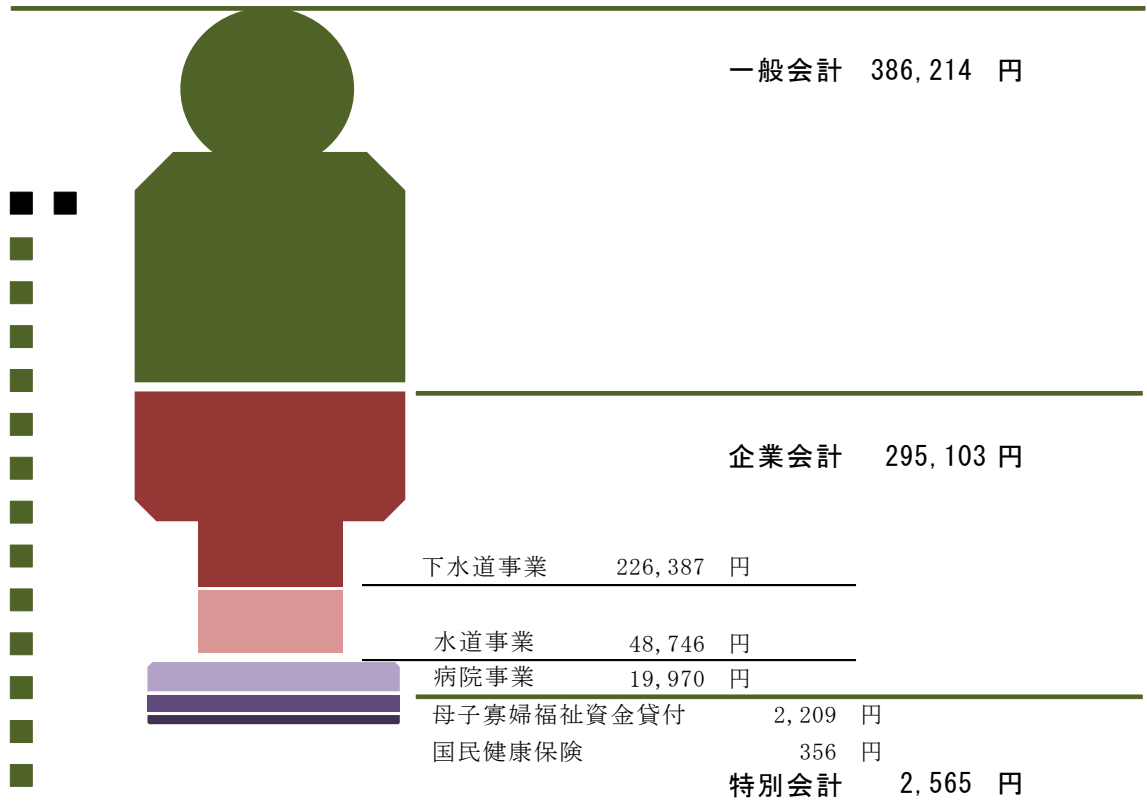


(単位：百万円)

		現 債 額
<b>一 般 会 計</b>		<b>162,920</b>
通 常	債	99,025
	道 路、公 園 等 の 建 設	37,335
	学 校 等 の 建 設	16,868
	芸 術 劇 場 等 の 公 共 施 設 建 設	14,628
	退 職 手 当 債	8,507
	ご み 処 理 施 設 等 の 建 設	5,231
	水 道 事 業 へ の 出 資	5,088
	そ の 他	11,368
	臨 時 財 政 対 策 債 等	63,895
<b>特 別 会 計</b>		<b>1,082</b>
	母 子 寡 婦 福 祉 資 金 貸 付	932
	国 民 健 康 保 険	150
<b>企 業 会 計</b>		<b>124,486</b>
	下 水 道 事 業	95,499
	水 道 事 業	20,563
	病 院 事 業	8,424
<b>合 計</b>		<b>288,488</b>

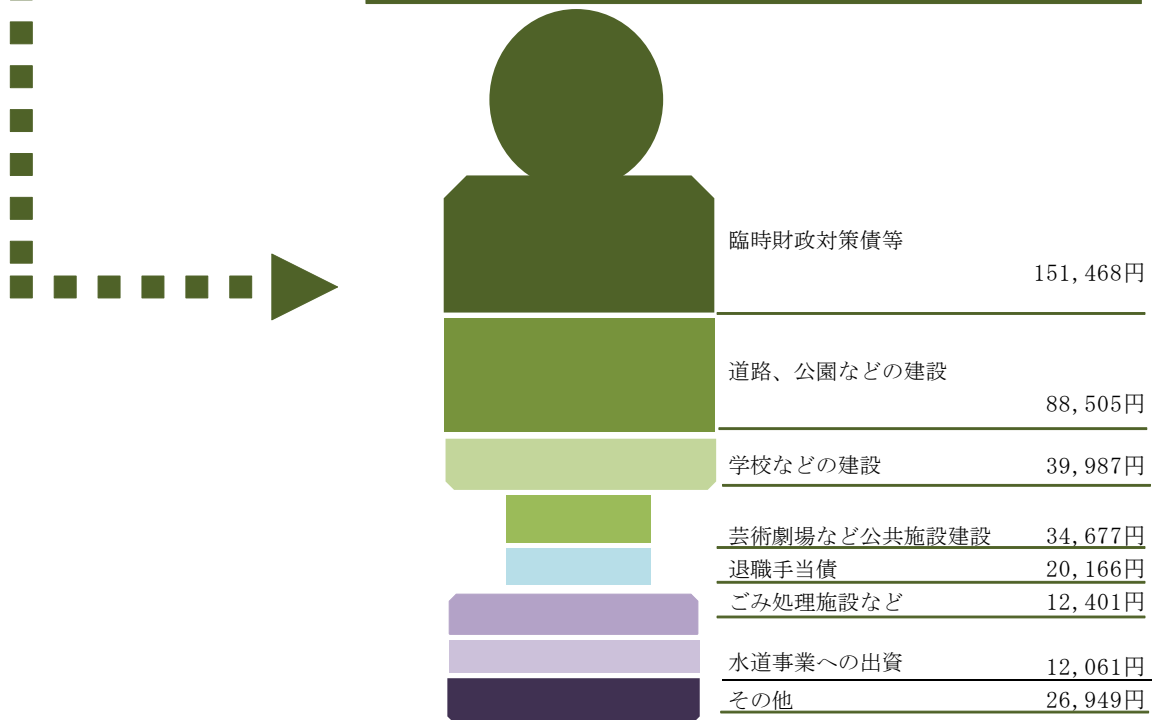
#### 特別会計・企業会計の市債

特別会計・企業会計の市債は、特定の事業のための原資や設備投資を行うために発行するものです。これらの返済には、事業から得られる使用料などの収入が充てられます。



一般会計の市債現債額の内訳

一般会計債 市民1人あたりの現債額 **総額** 386,214円



※人口は平成25年10月1日現在の住民基本台帳人口421,839人を使用しています。

#### 4. 市有財産の現在高（平成 25 年 9 月 30 日現在）

（一般会計及び特別会計に属するもの）

種 別		現 在 高
公有財産	土 地	7,240,257m <sup>2</sup>
	建 物	1,239,577m <sup>2</sup>
	動 産	浮標等 32個
	物 権	地上権 2,270m <sup>2</sup>
	無 体 財 産 権	商標権 6件
	有 価 証 券	540,591千円
	出資による権利	3,384,359千円
債 権	896,361千円	
基 金	28,137,213千円	

##### 無体財産権とは

特許法、著作権法、商標法などにに基づき、発明、考案、創作活動などの無形の財産を独占的に利用できる権利のことで、知的財産権ともいいます。

##### 基金とは

特定の目的のために財産を維持し、資金を積み立て、または定額の資金を運用するために設けられる資金、財産のことで、家計という貯金にあたります。

横須賀市には、財源の不足を生じたときの財源に充てることを目的とした財政調整基金や、緑化を推進し、緑を保全するために必要な費用に充てることを目的とした緑地基金などがあります。

#### 5. 一時借入金 の現在高（平成 25 年 9 月 30 日現在）

0 円

##### 一時借入金とは

一時借入金とは、地方公共団体が一般会計年度内において支払現金が不足した場合、その不足を補うために借り入れる資金のことをいいます。

収入と支出を予算で計画していますが、実際にお金が入る時期と経費を支払う時期にはずれが生じるため、支払いが多い時期には一時的に資金が足りなくなることがあります。そのようなときには、予算で定めた額を限度として一時的に金融機関から資金を調達することができます。